

未来への志 (パーパス)

託すをつなぎ、未来をひらく。

当社グループはこれまでオーナー様や入居者様の人生に寄り添い、想いを託され、その託された想いを実現しようと、従業員が一丸となり取り組んできました。そして、これからも、その想いを次の世代、未来へとつないでいくこと、それが、当社グループの存在価値であると考え「パーパス」を策定しました。

創業以来変わらない想い

私たちは「建築屋」や「不動産屋」として創業したのではない。企業のあるべき姿は、社会が欲しているものを常に見抜き提供していく「環境適応業」にある。土地所有者様、入居者様ともに悩みは切実なものがあり、その変化しながら高まりゆくニーズに私たちは応えていかなくてはならない。

〈経営理念〉

我が社は限りある大地の最有効利用を広範囲に創造し、実践して社会に貢献する。

サステナビリティ基本方針

大東建託グループは、豊かな暮らしを支える企業として、社会の変化を成長の機会と捉え、ステークホルダーのみなさまと共に、事業活動の発展と持続可能な社会の実現を目指します。

Contents

- 未来への志 (パーパス) 1
- 大東建託グループの大切な考え方 3
- 価値創造プロセス 5
- トップメッセージ 7
- 価値創造の歴史 13
- 認識する社会課題とビジネスモデル 15
- 経営資源・競争優位性 16
- 中期経営計画 (2024~2026年度) 19
- 事業戦略 25
- リスク・機会と今後の対応 29
- 人的資本経営 31
 - 特集① 従業員座談会 31
- ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン 39
 - 特集② 社外取締役・執行役員座談会 39
- DX戦略 47
- 防災 51
- TCFDに基づく情報開示 — 気候変動に対する取り組み 53
- TNFDに基づく情報開示 — 生物多様性・持続可能な木材調達に関する取り組み 59
- コーポレート・ガバナンス 63
- 財務戦略 73
- 財務・非財務ハイライト 75
- 会社情報 77

発行の目的

大東建託グループの中長期的な価値創造ストーリーと、目指すサステナビリティ経営の姿を財務・非財務の両面からお伝えすることを目的に発行しています。編集にあたってはIFRS財団による「国際統合報告フレームワーク」と、経済産業省による「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」を参考にしています。

対象読者

株主様・投資家様を中心としたステークホルダーのみなさま

対象期間

2023年度 (2023年4月~2024年3月末)

※一部取り組みについては、2024年9月まで含む

発行時期

2024年9月

将来の見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている業績見通しをはじめとした将来に関する記載は、本報告書の発行日現在における将来見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。